

# 会報神奈川

平成24年5月1日  
 発行責任者  
 会長 瀬尾 剛 良  
 〒211-0025 川崎市中原区木月1-20-1  
 電話：044(411)4344  
<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪  
 第六十二回神宮式年遷宮



東日本大震災物故者慰霊祭（釜石市根浜海岸）



## 神奈川県神道青年会

# 試練を乗り越えて

神奈川県神道青年会 会長 瀬尾剛良



東日本大震災から一年が経過致しました。世界広しといえども、これほどの悲劇に見舞われた社会はそう多くはないと思います。様々な困難に直面しても、日本の国民は順応していくことができます。それは間違いないと実感しています。

より大きな疑問は、今回の震災の経験からもっと建設的な何かが生まれるかどうかという事です。論争を繰り返す政治家たちが今、試されています。彼らは果たして、国の結束を保てるのでしょうか。また、それを土台にして、日本を過去の低迷から脱却させる事ができるのでしょうか。

今も日々生き方を問われているような気がしてなりません。目の前の人に自分はどんな接し方をしているのでしょうか。何を聴き、何を伝えているのでしょうか。一日、一日の重さを噛みしめながら過ごしています。

私たちが直面している課題は二つあります。ひとつ目の「今日の課題」は、言うまでもなく、今の被災者の救援や被災地の復興を進めて、一日でも早く

元の生活に戻れるようにすることです。これは決して疎かにしてはいけません。

それと同時に、ふたつ目の「明日の課題」も待たなしの状態です。東京大学地震研究所は、首都圏でマグニチュード七クラスの直下型地震が四年以内に七十パーセントの確率で発生する可能性がある公表致しました。併せて東海、東南海、南海の三つの地震が連動するとも言われています。今回の震災も「東日本三連動」と言われ、大きな三つの震源域が同時に動きました。われわれの生活の中にはただ安穏な「平時」があるだけではなく、必ず「非常時」というものが現れる時が来る。その「非常時」のことをいつも心の中のどこかに置いておかなければならないのです。

首都圏で大規模災害が発生した場合、神奈川県では五七二三七〇棟が倒壊・焼失などの被害を受けるとの想定が出されており、現在仮設住宅建設用地の確保は二二〇〇〇〇戸しか出来ていないとの報告が出されています。このような状況下、公的な避難所ではない神社の施設を開放せざるを得ない状況も生まれてきます。我々は、その「非常時」に備えた準備と意識を持ってい

なければなりません。

また、災害は社会の矛盾を炙り出します。例えば、高齢化社会、過疎化問題、地域間経済格差、日本に於けるリーダーシップを発揮する者の不在、医療過疎でお医者さんがいない地域社会があったことなどが挙げられます。先に受けた研修で特に印象に残ったのが、「正直者が馬鹿を見る」という言葉です。当初、震災による津波に飲み込まれた車の処理費は所有者が負担をするとの指示を出し、正直に支払った人がいる中で、今度はその指示を翻して国で賄うとの発表がなされるといったことが起きました。「復興の為には何をすべきか」を考えると、顕現してきた、そういった社会的矛盾を同時に解決するという事が重要だと思えます。「復興は世直しだ」とも言われるのは、単に防災上安全な街を作れば良いというだけではなく、日本社会全体が抱えている多くの問題を解決していく必要があるためではないでしょうか。



神奈川神社庁御用達

株式会社 **クレックス**

代表取締役 近藤 榮雄

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂七六九番地  
電話 〇四二一七二八八九四一(代)  
FAX 〇四二一七三三三五六三



- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
  - 開運招福鈴
  - 文鎮 金盃
  - 各種記念品類
  - 胸像・レリーフ・鑄造類

**鈴木徽章工芸株式会社**

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-12-1  
TEL. 03-3814-1811(代) FAX. 03-3818-8332  
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp  
http://www.suzuki-kisho.co.jp

# 御挨拶

神奈川県神道青年会 副会長 寶積章 磨



平成二十四年三月十日、神道青年全国協議会主催の東日本震災物故者慰霊祭に祭員として奉仕をさせていただきました。

被災地でお亡くなりになった方々の御霊をお慰めしたい。瀬尾会長が就任当初から声を挙げ続けていたこの思いは、会員を含めた多くの神職の心の中を代弁していたと思います。

しかし、何より現地の方々の心情が大事であり、こちらの押しつけけであってはならないと、炊き出しやボランティアなど、その時々被災地が必要とされる事を、会員が入れ替わり立ち替わり行ってきた一年間でありました。

震災から一年を経ようやく、全国の青年神職の同志と共に慰霊を行う機会を得て、斎場の岩手県釜石市根浜海岸へ。無量の思いを込めて奉仕させていただきます。

復興ボランティアに行くたびに感じたことがあります。津波に洗われた家屋の片付けをしながら、津波のヘド口

が詰まった側溝の泥出しをしながら、ああ、一人の力のなんと小さいことか！と。

こんな無力感に似た思いを、今回も道すがら感じてきました。それでも、たとえ小さくてもその行動を積み重ねていかなければ何事も前に進まない。そう、青年会活動も同じなんだな。そんな気持ちも再確認してまいりました。

今後も、瀬尾会長のもと、志を同じくする会員と共に斯界興隆のために邁進してまいります。変わらぬ皆様のご指導賜りますようお願い申し上げます。



神祭具・御装束・雅楽器類  
結婚式場調度

## (株) 高善装束店

代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-2-9  
TEL 03(5815)8771  
FAX 03(5815)8772



京都泰製株式会社

本社 京都市左京区静市原町129-1125  
電話 075-7411322  
東京営業所 東京都立区保塚町6-14  
電話 03-38841001  
仙台営業所 宮城県名取市社せの左三丁目6-10  
電話 022-7166788  
福岡営業所 福岡市博多区板付5-3-11  
電話 092-5921321  
フリーダイヤル 0120-116424

【京都西陣織】  
環境にやさしい  
おまもりをめざして  
のおまもり

神祭具のことなら民俗工芸にご相談下さい。

男性の厄年			女性の厄年		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24才	63才	62才	7才	6才	20才
41才	47才	46才	56才	55才	54才
60才	28才	27才	52才	51才	50才

# 厄年早見表

民俗工芸より多シク

屋内屋外兼用

株式会社 民俗工芸 TEL 0120-534-550  
FAX 0120-872-550  
〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1 土曜日も平常通り営業致しております

耐震性・耐久性に優れた石の風合いステンレス製鳥居



- ①主柱、笠木はステンレス材(SUS-304)使用(鏡頭部・台輪は鋳物製)
- ②額縁と銘板(アルミ鋳物)は標準装備(金型代も含む)
- ③既存鳥居は当社が責任をもって廃棄物処理(実費)

1,950,000円~(税別)

＜詳細資料・ステンレス特殊加工見本ございます＞ 〒332-0032 埼玉県川口市青木3-12-22  
コクド環境株式会社 国(048)241-8255 税 国(048)241-8256

シリーズ  
言葉

以和為貴

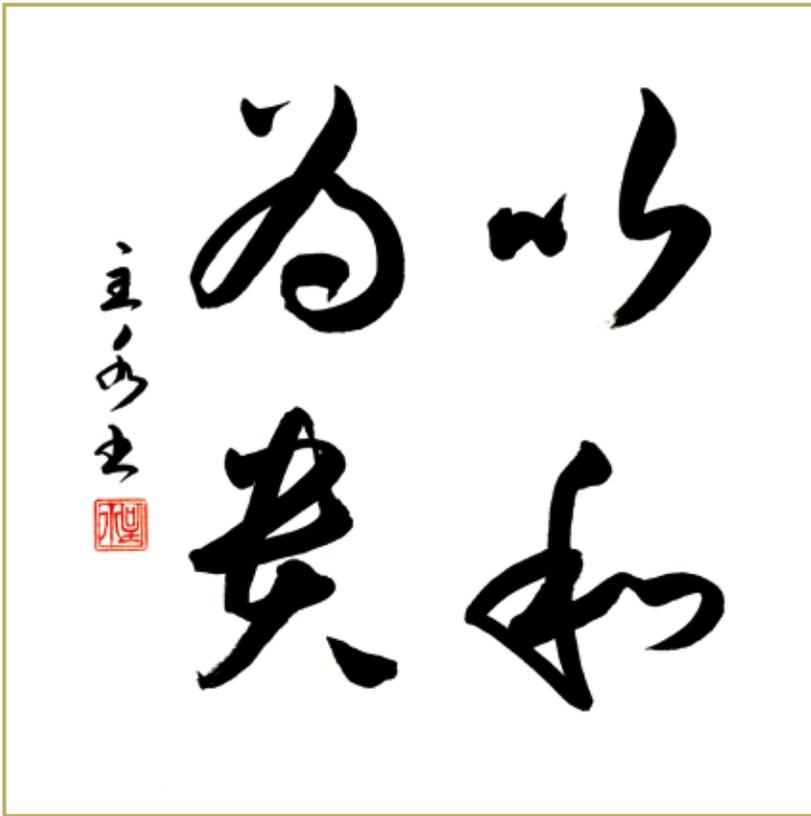
神奈川県神道青年会第十代会長  
富岡八幡宮 宮司 佐野主水



動に於いても、その絆の原点は「和」の精神であると思います。  
色々な考えを持った人々が集まり、

一つの目的を持った行動をする時、それぞれの考えを認め合い、譲り合うことも必要でしょう。  
神奈川県神道青年会の活動を通して、「和」の精神を以て、どうぞ仲の良い友達を沢山作り、その絆の基に、楽しく、又力強く活躍される事を期待します。

神奈川県神道青年会の皆様には、常に各部会において活発に活動されている様子を拝見し、非常にうれしく、又頼もしく感じて居ります。殊に先年度は、東日本の大震災に際して、現地に赴き青年神職らしく行動力を発揮した奉仕活動を展開された事は、将に「斯界の尖兵」と言うキャッチフレーズにふさわしい活躍であったと思います。彼の三月十一日以来「絆」という言葉が流行語のようになり、又コミュニティの大切さが改めて見なおされるようになりました。  
我々神職はコミュニティを構築しその絆を強くする、その事こそが本来の職務ではないかと思えます。  
「以和為貴」(和を以て貴しと為す)これは聖徳太子の十七条憲法の第一条の冒頭に出てくる言葉ですが、地域のコミュニティに於いても、青年会活



内宮に一番近い宿・どなたでもご利用いただけます

早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

**神宮会館**  
(財)伊勢神宮崇敬会

— ご宿泊に関するお問い合わせ —

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152  
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

http://www.jingukaikan.jp

遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

大切なイメージを  
カタチにします。

オリジナルグッズ・記念品

**KOWA**  
KOWA DISPLAY CO.,INC.

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002  
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925  
ホームページ http://www.kowa-dsp.co.jp/

特集

稲作体験事業が  
神道青年全国協議会優秀事業賞受賞

企画部部長 飯谷秀典



5月夕刈ツケ

企画部で行っております稲作体験事業が、このたび神道青年全国協議会優秀事業賞を受賞致しました。これも皆様方のご支援の賜物と存じます。ここに篤く御礼申し上げます。また、この受賞に際しましては、事業の継続性が認められたと聞いております。この稲作体験事業を立ち上げてより、継続してこれら諸先輩方も大変なご苦労をされたことと存じます。これら諸先輩方に敬意を表します。

さて、稲作体験事業でこれまでに苦労した事と言えば、まず一般の人を募つての事業の為、迎える側として自らが稲作をできる様にしておかなければならない事でした。企画部に入るまで、稲作を行った事がなく、耕作者の方に教えていただきながらも、半分は見よう見まねで始めました。大変な作業も多いのですが、一つ一つの作業が新鮮で、体を動かす気持ち良さもあり、楽しく覚えていきました。

覚えることも多く色々な苦労もありますが、何より大変なのは、人を集めることです。多くの子供たちに参加してもらえるように休日開催としますが、休日の開催では青年会員の参加が難しくなります。しかし、それぞれが稲作の大切さを伝える為、社務を調整し積極的に参加してくれました。一般参加者については、事前申し込みでは参加人数が少ない事もありますが、会長をはじめ企画部副部長や青年会員が、知人や友人を誘ってくれる為、当日には予想を超える人数が集まります。また、耕作者の方が地元の子供たちを集めてくれるので毎回賑やかに事業を行うことができます。多くの子供たちが参加し稲作に触れ、満面の笑みで一日を過ごしてくれる事が好奇心旺盛なキラキラした目で色々な質問をしてく



6月田植え



紙芝居



8月かかし作り



また、今では稲作体験事業での定番となり、他単位会からも貸し出しの依頼がくるようになった神道紙芝居ですが、その始まりは神道青年会の事業なので神道らしく、神道教化になり、子供が楽しめるものをやるうというものでした。当時の担当副会長の提案でしたが、紙芝居の制作にあたっては、絵から台本まで全て青年会員の手作りで行い完成し素晴らしい物が出来たと思います。

過去には、台風の翌朝、早くに、倒れた稲を起こしに行つたなどの話も聞いております。この様な天気・自然の影響で苦労する事もありますが、自然と共に生きる日本人の「道」が稲作にはあると感じています。



今後も継続してまいりますので、これからも稲作体験事業をよろしく願っています。

願っています。

虫送り



10月懸税



稲刈り



### 家訓作りプログラム

教養部副部長 平井泰行

平成二十三年十月二十七日、教養事業として、公益社団法人日本青年会議所「徳溢れる心の醸成会議」幡谷副議長を始め、メンバーの皆様を講師としてお招きし、日本人の誇り高き精神性と美意識を兼ね備えた我々の使命の源である徳溢れる心を醸成し、心の荒廃を正す積極的な行動を喚起する人材の育成を目的とする「家訓作りプログラム」を稲毛神社において開催致しました。

日本の家庭の中には古来より、家長（父親）が家族に対して、物事の心得・注意などを示す家訓が存在し、家訓によって家族の和や道徳心というものが養われてきました。しかし、核家族化の進行と共に急速に家訓が消滅している現状を知り、驚かされつつも、自分の周囲を考えると少なからず納得させられました。



このプログラムでは、日本青年会議所で独自に制作した映像を拝見し、各項目に沿いながら、伝統企業を始め、歴史上の



平成二十四年三月四日、横浜市金沢区の海の公園に於いて、神奈川県神社庁錬成行事道彦瀧森好先生、同助彦 水谷智賢

### 禊錬成研修会

教養部副部長 牛田圭

人物、現代に生きる著名人の家訓や社訓を学ぶと共に、講義の内容を踏まえ、昔からの祖父母や親からの言い伝えや自分自身の考えを実際に家訓として作成していきました。

プログラムの最後には自らの家訓を家族へ伝えるために電話をするなどのサプライズもあり、終始楽しく開催できました。

この家訓作成において、父親であることの威厳や自負を取り戻し、再び家族を率先して牽引していく力こそ、日本の未来を明るくする原動力だと考えさせられ、又祖先より受け継いできた大切なものを改めて見直すことができ、実りある研修となりました。



本研修で学んだ事を今後の奉仕に活かしていきたいと思えます。お忙しい中、ご指導賜りました先生方に感謝申し上げます。ありがとうございます。



先生・角井先生にご指導を賜り、「禊錬成研修会」が開催されました。本年は神奈川県神輿保存会と合同の開催となりました。

当会々員の他、千葉県神道青年会々長 宮崎慎氏にも御参加いただき、総勢約百名の参加で行われました。春の暖かい陽気とは縁遠い寒風が吹く中での研修となりました。

私は今回、禊錬成行事に初めて参加しました。今までに経験したことのない厳しい天候での禊は、少しでも気を緩めると寒さに負けそうになりました。懇親会の席で、先生方より「夏に行う禊で禊行事の形を覚え、冬に行う禊で自分自身の心身を鍛える」とのお話がありましたが、正に自分自身と向き合い、心身を鍛える禊となりました。

## 誠実奉仕、信用第一

本社 御用達  
 神奈川 推薦店  
 学院大学 指定期  
 明治 神宮

# 瀬戸装束店

〔営業品目〕

- 神職御装束 ●神楽装束 ●神社調度
- 祭器具のすべて ●神前結婚式場神殿設備

東京都中野区中野3丁目10番5号  
 〒164-0001 電話 03-3381-4927  
 FAX 03-3381-4927

取引銀行  
 三菱東京UFJ銀行中野駅前支店  
 普通預金No.0359145  
 郵便振替口座 00120-7-557201

“土佐松自由自在”「既製サイズで我慢・・・」の時代は終わりました。  
 土佐松で作る神具木工品は

# 森の道具屋

〒780-0935 高知市旭町2丁目22-15

TEL 088-850-4087 FAX 088-850-4076

URL <http://www.morinodouguya.ecweb.jp>

E-mail [morinodouguya@titan.ocn.ne.jp](mailto:morinodouguya@titan.ocn.ne.jp)

**御神田通信**  
企画部部长 飯谷秀典

当会では毎年  
神宮に懸税（か  
けちから）を奉  
納しておりま  
す。今年も稲刈  
りにさきがけて  
二十株ほどの稲  
を刈り取り、懸  
税を奉製して伊勢の神宮へ奉納しまし  
た。



平成二十三年  
十月十五日、待  
ちに待った稲刈  
りでしたが、当  
日はあいにくの  
雨となりまし  
た。残念でした  
が、稲刈りは延  
期とし、拔穂祭

のみを齋行し、参列した約十名で少し  
だけ稲刈りを行いました。稲刈りを楽  
しみにしていた子供たちも残念だった  
ことでしょう。肝心の稲刈りは後日、  
青年会で行う予定でしたが、耕作者と  
の日程が合わず、すべて耕作者にお任  
せすることとなりました。その代わり  
に、今回初めて稲こきを手伝いました。



これが思っ  
いたよりも重  
労働で大変で  
した。稲作体  
験事業に携  
わって数年経  
ちますが、ま  
だまだ知らな  
い苦労があることを実感しました。そ  
して収穫したお米を精米してもらい、  
新嘗祭に合わせて県内の神社へ奉献し  
ました。また、  
余ったお米と  
玄米にしたア  
カ米を希望者  
に頒布し、今  
年度の事業は  
無事に終了し  
ました。



**忘年会・新年会・  
慰労送別会**  
親睦部副部長 田中郁美

平成二十三年十二月七日に横浜中華  
街「重慶飯店」にて、来賓の神奈川縣  
神輿保存會の方々、また当会OBの諸  
先輩方、そして我々会員を含め五十七  
名の参加を頂き、忘年会を開催致しま  
した。  
未曾有の災害が発生したこの一年を  
振り返りつつ、年末年始の社務に向け



英気を養い、大盛會のもと終了致しま  
した。



平成二十四  
年一月二十五  
日に横浜「く  
いものやわ  
ん」にて、会  
員三十八名の  
参加を頂き、  
新年会を開催  
いたしました。  
各御社頭のお正月話等歓談を楽し  
み、和やかな宴会となりました。  
平成二十四年三月四日に横浜「CU  
ORE」にて、退会者を含め三十六名  
の参加のもと、慰労・送別会を開催致  
しました。  
年度末にあたり、一年の諸事業活動  
の反省、そして定年退会・県外転出を  
される会員へ慰労と送別を込めた宴会  
となりました。宴会の終わりに、今  
回参加頂いた退会者へ記念品が贈られ  
ました。似顔絵の色紙は大変喜んで頂  
いたことと思います。

平成二十四  
年一月二十五  
日に横浜「く  
いものやわ  
ん」にて、会  
員三十八名の  
参加を頂き、  
新年会を開催  
いたしました。  
各御社頭のお正月話等歓談を楽し  
み、和やかな宴会となりました。  
平成二十四年三月四日に横浜「CU  
ORE」にて、退会者を含め三十六名  
の参加のもと、慰労・送別会を開催致  
しました。  
年度末にあたり、一年の諸事業活動  
の反省、そして定年退会・県外転出を  
される会員へ慰労と送別を込めた宴会  
となりました。宴会の終わりに、今  
回参加頂いた退会者へ記念品が贈られ  
ました。似顔絵の色紙は大変喜んで頂  
いたことと思います。

宮内庁  
神社本庁 神奈川県神社庁・各県神社庁  
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

**御用達**

**株式会社 大槻装束店**  
東京・上野駅前

〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目17番9号  
電話 **03 (3835) 3201** (代)  
FAX **03 (3835) 0617**  
<http://www.ootsuki-shozokuten.com>

**誠実と真心で奉仕する**

御守・授与品・参拝記念品奉製

御一報次第カタログ御送り致します。

**グリーン産商株式会社**  
〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
電話 大阪 06-6702-6009 (代表)  
FAX 大阪 06-6797-5460



# 東日本大震災物故者慰霊祭に参列して

平成二十四年三月十日

教養部副部長 葦津元彦

未曾有の大震災から一年が経過しよ

うとしていた平成二十四年三月九日、瀬尾会長以下五名の役員は、神道青年全国協議会主催で行われる東日本大震災物故者慰霊祭に奉仕及び参列の為に、全国より約六十名の会員と共に岩手県石巻市に集結しました。

翌日は早朝より釜石市根浜海岸に向け約二時間掛けてバスで移動します。海岸が近づくにつれ、山積みのままの瓦礫、津波の被害を受けて手付かずの状態の建物など、被災状況が一年経っても生々しく残っている現実を目の当たりにし、改めて震災被害の惨状と現状を認識致しました。

慰霊祭当日の天気は雪、海岸は気温が低く強風で、被災地の冬の厳しさを肌身に感じました。根浜海岸の慰霊祭斎場から程近い宝来館という旅館で白衣白袴に改服させて頂きましたが、この旅館も震災当日は二階部分まで津波の被害を受けました。現在はその被害が無かったかのように綺麗に修復され、営業を再開しており、震災からちょうど一年が経とうとするこの日も、亡くなった方々の年祭や法事で各部屋も

埋まっております。

慰霊祭の斎場は海に向かって設置されており、ご来賓、ご遺族や地元の方々、全国の青年会員など約百五十名が参列しました。祭員は神青協各地区より一名づつ選出されご奉仕を頂きました。関東地区からは当会の寶積副会長が祭員として奉仕に就きました。皆の気持ちを一つに大祝詞を三巻奏上で始まった慰霊祭は、ただただ物故者の慰霊と被災地の一日も早い復興を祈るばかりでした。

慰霊祭が終了し神青協大野会長、岩手県神社庁西館庁長から、被災された方々に心を寄せて、又亡くなった被害者の慰霊を続けていくことが、この世に生きる我々の務めであると力強いご挨拶を賜りました。

一年という節目を直前に、全国から集まった青年神職が慰霊祭を奉仕し、祈りを捧げられたことは大変意義深いものだと思います。この慰霊祭に参列し、今後も御霊が安らかにお鎮まり頂けるよう、又被災地の復興が叶うよう祈り続けることを改めて決意致しました。





# 神社実務研修会

渉外部副部長 志村幸弥



平成二十四年二月二十九日、神社に於いて神社実務研修会が行われました。内容は昨年の震災を鑑みてのもので、三人の講師の方々に震災・災害に関するお話を伺いました。始めに神奈川県神道青年会が行った震災復興支援活動の報告を瀬尾会長をはじめ、それぞれの活動に参加した会員達が行いました。次に中越震災で被災された長岡市に鎮座していただき、蒼柴神社の永井禰宜様より、復興までの実際の経緯をお話しして頂きま



した。人々の生活が復興しないことは、神社の復興はあり得ないので時間は掛かるが焦らないで、じっくりと復興を進めていくことが肝要と仰っておられました。最後に神社本庁災害対策室の小澤淑寿室長様よりお話を伺いました。神社・神職の被災状況や神社本庁がどのような復興支援策を打ち出しているのかという説明をして頂きました。当日は生憎の大雪に見舞われたにも関わらず、大勢の出席があったことに関心の高さを感じました。今回の研修で学んだことをもしもの時に生かせるように、これからも震災に対するアテナを立て続けていこうと思いました。



### 顧問会・賛助会員交歓会 渉外部部長 古木普総

平成二十三年十月十二日、渉外部が担当させて頂いております、顧問会並びに賛助会員交歓会を横浜国際ホテルにて開催させて頂きました。

顧問会におきましては、永井武義顧問にご出席を頂き、各部より本年度の活動内容並びに活動予定を報告させて頂きました。

今年度は、三月十一日に発生した東日本大震災の復興支援として、被災地での復興支援活動の報告も行わせて頂きました。復興支援活動に関しては、青年会、又神青協並びに一都七県協議会においても被災を受けた地に赴き、様々な支援活動を行い、その報告も併せて行わせて頂きました。

この復興支援活動に関しましては、今年度だけに留まらず、長年に渡り、我々青年神職が被災地に心を寄せ、活動して行かなければならないと改めて認識致しました。

賛助会員交歓会に於きましては、神奈川県神社庁副庁長当会第十代会長佐



野主水宮司様をはじめ、多くの賛助会員の皆様

にご出席を賜り盛大に開催させて頂きました。

青年会活動の大切さや長年、諸先輩方が培われた青年会活動についてお話を直に伺う事ができ、大変有意義な交歓会となりました。

賛助会員の皆様方には、青年会活動に多大なご協力を頂いております事、厚く御礼申し上げます。



### 神青協一都七県協議会 研修旅行 事務局員 山本喜道

平成二十四年三月十二日から十三日にかけて、千葉県にて行われた神青協一都七県協議会の研修旅行に参加して参りました。神奈川県からは六名、総勢約四十名と大勢の参加のもと東京駅

に集合し、バスにて千葉県に向か

いました。

初日は、

千葉県木更

津市に御鎮

座の「八劔

八幡神社」



に正式参拝させて頂きました。境内が良く整備されており、閑東一と称されるという大神輿は圧巻の一言でした。また、「鳳神ヤツルギ」というご当地ヒーローの撮影に協力されていて、地域の活性化に積極的に参加されている姿勢が印象的でした。

二日目

は、鴨川市に御鎮座の「天津神明

社に参拝させて頂きま

した。宮司様の様々な

アイデアで社を盛り上げていこうという熱い思いを感じる事ができました。

次に、千葉市に御鎮座の「稲毛浅間神社」に参拝させて頂きました。御鎮座千二百年祭に向けて展開されてきた事業や境内の樹木の整備を職員の方々で極力行われるということ、またその仕上りの素晴らしさに感嘆するばかりでした。

普段中々お会いできない他県の先輩方からお話を聞いて親睦を深め、各神社に正式参拝させて頂いて地域の発展に様々な努力をされているお話を聞くことができたこと等、大変参考になりました。実りのある研修旅行になりました。



代表取締役  
**可児 錠二**

**トモ工陶業株式会社**  
**株式会社可児商店**

愛知県瀬戸市北浦町三丁目36番地 〒489-0915  
Tel.0561-83-3674(代) Ofax.0561-82-4261  
E-mail:kani-co@mtf.biglobe.ne.jp  
http://www.tomotoogyo.jp

神奈県 授与品 記念品 奉製

**株式会社 神路社**

本 社 三重県伊勢市岩洲2丁目5番29号(私西第26号)  
〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110  
IP電話 050-3536-5273  
URL http://www.kamijisya.co.jp  
E-mail info@kamijisya.co.jp

神 苑 東京都渋谷区恵比寿 1-26-14 SSRビル4階  
(東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721  
〒150-0013 IP電話 050-3539-3432  
E-mail shinen@kamijisya.co.jp

### 山梨県神道青年会 創立六十周年記念式典

広報部部長 守屋隆広



平成二十四年二月二十一日午後二時から山梨県甲府市富士屋ホテルに於いて、山梨県神道青年会創立六十周年記念式典が開催され、当県より十二名が参加致しました。

多くの御来賓、一都七県青年会員の招かれた記念式典に次いで、永世棋聖米長邦雄先生による記念講演「素晴らしい日本」という演題で、多岐にわたる神々との交流や教育のお話を賜りました。先生が感じる神々とのつながり、そこから感じる子供たちに伝えたい思い、そして現在の教育問題という深い根のあるお話まで興味深く拝聴させて頂きました。特に「子供たちに親しまれる神社、子供たちが神社に遊びに来ることが出来る身近な存在であることが重要」というお言葉は、昔の神社にあって今の神社には足りなくなってきた事のように感じ、今後神社を護持していく上で考えていかなければならな



神道青年会創立六十周年を御祝いすると共に他県との貴重な意見交換も行い、有意義な一日を過ごしました。

### 中央研修会

広報部副部長 中村喜江

去る平成二十四年三月二十二日、二十三日、ホテルフジタ福井において平成二十三年度神道青年全国協議会中央研修会が主管北陸神道青年協議会、担当福井県神道青年会により開催され、全国より三百名を超える青年神職が集い、当会からは瀬尾会長をはじめ十二名の会員が参加致しました。

この研修会の主題は「立志」一人ひとりが、今、なすべきことの道標としてであり、幕末期に活躍した福井藩士橋本左内の生き方や著書「啓発録」に倣い、我々青年神職はこれからの日本の未来に向け、どのような志を立てて行動すべきかを研修致しまし

た。

一日目は開講式の後に第一講は杏林大学名誉教授の田久保忠衛先生に「激動する国際情勢と日本」と題して中国と近隣諸国の位置付けと国際情勢を、第二講は株式会社独立総合研究所代表取締役社長兼首席研究員の青山繁晴先生に「二千年国家の新生」と題して原発問題と拉致問題を通して政治と情報の見極めについてご講演頂きました。

続いての懇親会では、清興として蟹の早むきで有名な「ムキムキみっちゃん」が登場し、越前がに百杯の早むきの妙技を披露、北陸の旬の食材や銘酒と共に堪能致しました。また、大野神青協会長をはじめ、地区、単体会会長による大杯を用いての絆の酌み交わしは大変見事なものでした。

二日目第三講は産経新聞東京本社編集局政治部記者の阿比留瑠比先生に「永田町から日本の未来を憂ふ」と題して永田町における皇室典範や原発問題についてご講演頂きました。

二日間の研修での講師陣の熱い



主張や同じ青年神職との交流を通して、新しい知識を得てさらに視野を広げることが出来たと思います。

### 「神奈川の神社参拝スタンプラリー」アンケートご協力御礼

IT事業推進部部長 石原誠人

当会創立六十周年記念事業として企画運営を致しました「神奈川の神社参拝スタンプラリー」にご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

運営開始から一年を迎えますが、多くの参拝者にご利用を頂き順調にアクセス数も伸びております。

去年十一月、今後の運営について検討するにあたり、現状の把握やご意見を頂きたく、アンケートをお願いさせて頂きました。当企画では、県内本務神社へのQRコード付きの看板の設置をお願い致しましたが、七割以上の神社において設置をして頂いているのご回答を頂きました。また、兼務神社にも設置をしたい、広くサイトの宣伝をして欲しい、などの貴重なご意見を頂きました。今後、より良い継続事業となるよう、皆様のご意見を活かし、運営していき



たいと思えます。ご協力ありがとうございました。

平成23年度後期活動報告

- H23・10・6 神青協一部七県協議会神職野球大会 会場：神宮外苑野球場
- H23・10・12 賛助会員交歓会・顧問会 会場：横浜国際ホテル
- H23・10・15 稲作体験事業「稲刈り」 会場：御神田
- H23・10・18 稲作体験事業「稲刈り」 会場：御神田
- H23・10・19 神青協一部七県協議会 第3回定例会議  
会場：東京都神社庁
- H23・10・20 第7回拡大役員会・創立60周年委員会 会場：杉山神社
- H23・10・21 稲作体験事業「稲コキ」 会場：御神田
- H23・10・24 神青協一部七県協議会 第1回フットサル大会  
会場：神宮外苑フットサル場
- H23・10・27 教養研修会「家訓プログラム講習会」 会場：稲毛神社
- H23・11・7~8 神青協宮城県復興支援活動
- H23・11・8 第27回北方領土返還要求運動神奈川県民大会  
会場：横浜情報文化センター
- H23・11・11 東京都神道青年会「教養講座」 会場：東京都神社庁
- H23・11・17 第8回拡大役員会 会場：伊勢山皇大神宮
- H23・11・21 創立60周年記念事業実行委員会解散式  
会場：横浜国際ホテル
- H23・11・25 菊名神社「本殿遷座祭」参列 会場：菊名神社
- H23・11・29 神奈川県宗教連盟「第70回宗教文化講座」  
会場：横浜天理ビル
- H23・11・30 神社庁設立65周年県総連55周年記念大会助勢  
会場：横浜ロイヤルパークホテル
- H23・12・2 神青協一部七県協議会 第1回ゴルフコンペ  
会場：栃木県佐野市
- H23・12・6 松田良昭県議「かながわ元気フォーラム」助勢  
会場：ローズホテル横浜
- H23・12・7 忘年会 会場：ローズホテル横浜
- H23・12・9 神青協一部七県協議会 第4回定例会議・研修会・  
忘年会 会場：靖國神社
- H23・12・11 高橋史朗先生講演会・教育事業説明会助勢  
会場：伊勢山皇大神宮
- H24・1・25 新年会 会場：横浜「くいもんや わん」
- H23・1・30 第9回拡大役員会 会場：住吉神社
- H24・2・7 北方領土返還要求全国大会 会場：日本青年館大ホール
- H24・2・7 第4回神青協一部七県協議会事務局会 会場：東京大神宮
- H24・2・9 神青協一部七県協議会 第5回定例総会・新年会  
会場：神社本庁
- H24・2・11 建国記念式典 記念講演会 会場：神奈川県民ホール
- H24・2・12 「教育を良くする神奈川県民の会」設立総会  
会場：かながわ労働プラザ
- H24・2・12 神奈川県神興保存會新年会 会場：ロイヤルパークホテル
- H24・2・21 山梨県神道青年会創立60周年記念大会  
会場：甲府富士屋ホテル
- H24・2・22 京都府神道青年会創立60周年記念大会  
会場：リーガロイヤルホテル京都
- H24・2・23~24 神青協「巫女のための神宮研修会」 会場：神宮
- H24・2・25 第10回拡大役員会 会場：伊勢山皇大神宮
- H24・2・29 神社振興委員会研修会「震災支援活動報告」  
会場：神奈川県神社庁
- H24・3・4 教養事業「視錬成会」 会場：横浜「海の公園」
- H24・3・4 親睦事業「送別・慰労会」 会場：横浜「CUORE」
- H24・3・9~10 神青協「東日本大震災物故者慰霊祭」  
会場：岩手県「根浜海岸」
- H24・3・12~13 神青協一部七県協議会 研修旅行 会場：千葉県
- H24・3・22~23 神青協中央研修会 会場：福井県
- H24・3・27 第11回拡大役員会 会場：稲毛神社
- H24・4・2 神青協一部七県協議会 第2回ゴルフ大会 会場：千葉県
- H24・4・20 第1回拡大役員会 会場：住吉神社
- H24・4・24 神青協一部七県協議会 第1回定例会議  
会場：神社本庁地下会議室
- H24・4・25 女性フォーラム実行委員会発会式  
会場：ローズホテル横浜
- H24・4・27 神青協平成24年度定例総会 会場：神社本庁

慶事報告

○結婚

今村真弓広報部副部長（9月25日）

○子供誕生

南惣一郎広報部副部長 第一子誕生  
平成23年8月25日生まれ 岳輝



佐伯禎国会員 第二子誕生  
平成23年10月22日生まれ 明信



佐野巖副会長・佐野若菜IT事業推進部副部長 第一子誕生  
平成23年10月28日生まれ 楷



伊藤俊州総務 第三子誕生  
平成23年12月30日生まれ 源治



守屋隆広広報部部長・守屋友紀子会  
員 第二子誕生  
平成24年1月11日生まれ 儀彌



平岡好晃会計局長・平岡理恵IT事業推進部副部長 第一子誕生  
平成24年3月15日生まれ 好晴



吉田俊和教養部副部長・吉田幸子教  
養部副部長 第一子誕生  
平成24年3月22日生まれ 翠



寶積章磨副会長 第二子誕生  
平成24年4月3日生まれ 恒介



退会・入会会員（順不同）

○退会

土岐 典子..八幡神社

植栗 真之..伊勢山皇大神宮

我妻 智章..瀬戸神社

近藤 功..箱根神社

佐師 正教..鈴鹿明神社

鈴木 隆太..稲毛神社

岩本 悠輝..伊勢原大神宮

太田 裕智..大山阿夫利神社

小嶋 遼..鶴岡八幡宮

和田 憲治..鶴岡八幡宮

小岩 裕一..鎌倉宮

○新入会員

池田奈津江..弥生神社

平沢 統舎..江島神社

田村 寛仁..江島神社

塙 敬比古..鶴岡八幡宮

渡部 陽司..鶴岡八幡宮

阿部 友哉..鶴岡八幡宮

松橋 孝聡..鶴岡八幡宮

土屋 慶之..箱根神社

伊藤 政好..箱根神社

西山 桂子..五所神社

吉田 俊和..浅間神社

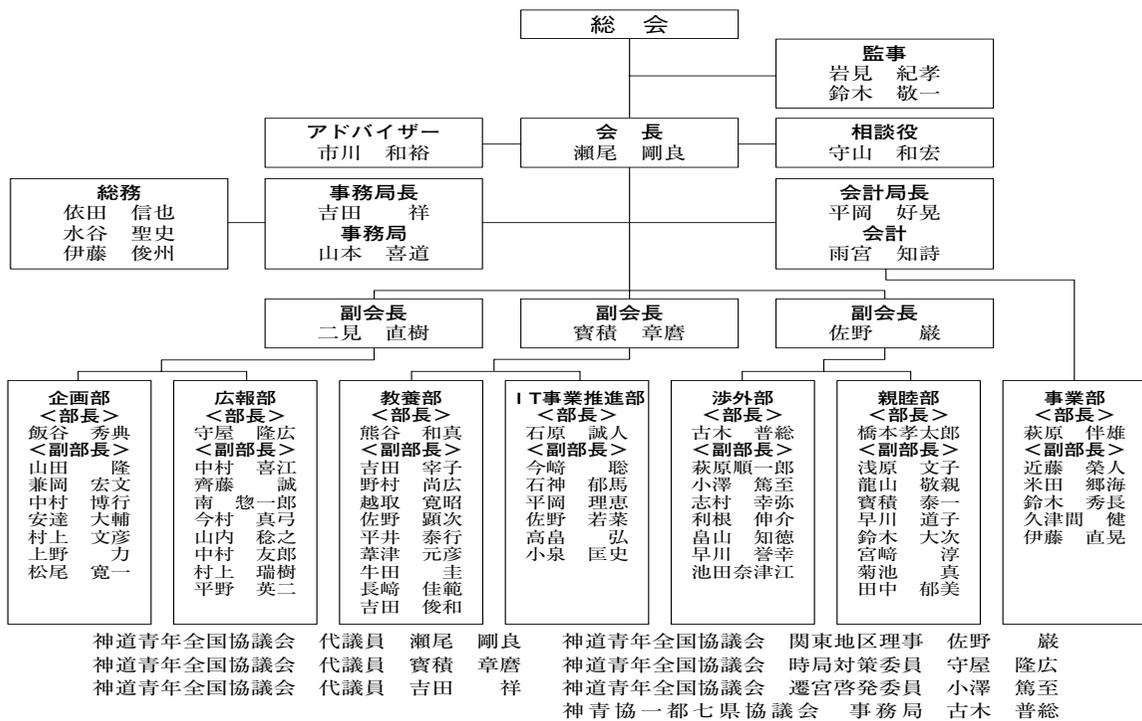
平野 英二..白旗神社

野村のぞみ..稲毛神社

佐藤 史久..富岡八幡宮

長坂 倫旦..報徳二宮神社

平成24年度 神奈川県神道青年会組織図



編集後記

会報神奈川を発刊するにあたりましてご協力いただきました皆様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

特に、佐野主水宮司様には今回より始まりましたシリーズ「言葉」へのご寄稿、青年会員が心に刻み活動するに相応しいお言葉を頂戴し、お忙しい中、誠にありがとうございました。

四月には当会企画部主催の稲作体験事業が栄誉ある神青協優秀事業賞を賜りました。先輩方の培われた事業を継続し全国で認めていただけた事は、青年会員として嬉しく、さらに今後しっかりと継続していかなければならないと実感しました。

今後も青年会の活動報告を皆様にお伝えしてまいりますので、会報神奈川をお目通しただけは幸いです。

(山内稔之)

この国の佳き伝統とともに

株式会社 宮本卯之助商店

創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1  
tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

野球同好会



神奈川県神職野球同好会は現在三十五名の会員で活動をしており、毎年秋に行われる一都七県神職野

球大会優勝を最大の目標として、四月から十月まで月数回の活動をしております。去年度の大会は雨天中止になってしまいました。最近の大会では優勝から遠ざかっていますので、会員一致団結して優勝目指して頑張っています。とはいっても、野球を楽しむ、体を動かすことがまず第一。初心者から経験者まで、和気あいあいとしたムードでとても楽しく活動しています。勿論、メンバーも随時募集しています。経験の有無、年齢は問いません。入会希望の方はお気軽にお声をお掛けください。

神奈川県神職野球同好会

事務局 石原



フットサル同好会



神奈川県神職フットサル同好会では、四月から十月まで横浜市ので体育館やフットサル場などで月二回程度活動をしてお

ります。昨年開催されました神青協一都七県協議会フットサル大会(非公式)では、準備に終わりましたが、大会では常に優勝を目標に、ゆる〜く和やかに楽しく活動を続けていきたいと思っております。試合だけでも練習だけでも楽しく一緒に活動していただける方を募集しております。経験・年齢は問いません。是非、ご参加ください。

フットサル同好会 事務局 守屋



ゴルフ同好会



昨年神青協一都七県協議会では、親睦事業としてフットサル大会、続いてゴルフコンペが開催されました。好評につ

き今年も継続して開催されるようです。このゴルフブームの到来を感じさせるかのような機運のなか、神奈川県神道青年会の会員の中からも、県内でゴルフコンペが出来たらとの声があちこちで湧き上がりました。そこで、去る一月三十一日、大厚木カントリークラブ桜コースに於いて、第一回神奈川県神道青年会ゴルフ同好会コンペが開催されました。寒い時期の開催でしたが四組十四名もの参加者が集まり、皆楽しく和気藹々とゴルフを楽しみました。此れを期に今後も定期的にゴルフコンペを開催したいと思っています。ゴルフ大好きな方、はじめてみようかなと思っっている方、初心者の方も大歓迎です。日頃持つている箒をクラブに持ち替え、ゴルフをして親睦を深めましょう!

ゴルフ同好会 事務局 早川

全国各神社 山梨県神社庁 御用達

各神社のお礼お守のお手伝いをして100年

神符・神札 金剛御守 守護矢 ステッカー 御守・木札 プラスチック守 奉書・半紙 テレホンカード 交通安全札 ビニール守 色紙・大麻

和紙製造印刷加工

井丸井紙店 有限会社

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 TEL 055-272-0136・0762 FAX 055-272-3966

御装束・御簾・神輿 神祭具調度

宮内庁御用達 京装束・京神具の店

重竹 株式会社

〒600-8324 京都府京都市下京区東側町510番地

Tel 075-371-0394代

Fax 075-341-6966

みんな おみこし 〆注文専用フリーダイヤル 0120-37-0394